

参加者アンケート結果

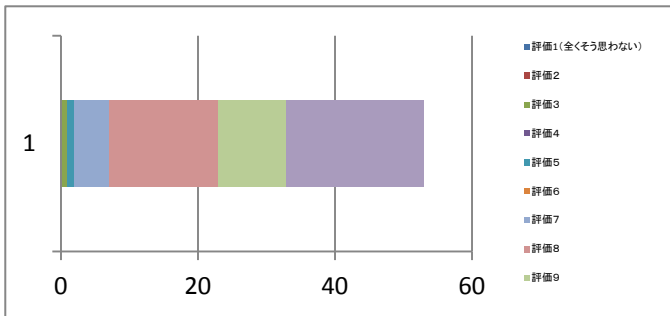
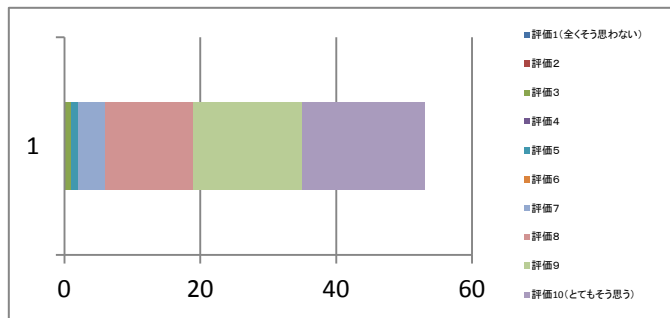
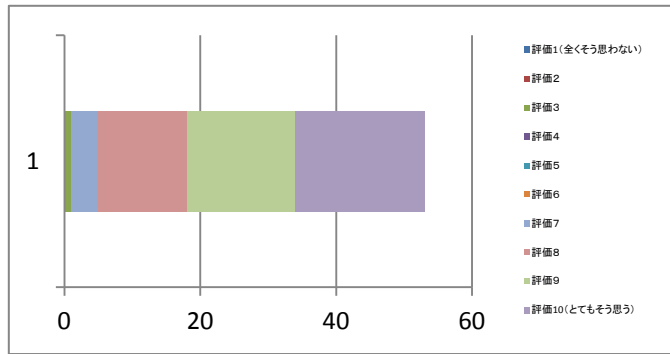
参加者 77名 → アンケート回収 53名(回収率69%)

《参加者内訳》

- **学外からの参加者** **57名**
 - ・ 医療職 20名
 - ・ 市民 20名
 - ・ 福祉職 5名
 - ・ 学生 3名
 - ・ 教員 1名
 - ・ その他 8名

- **学内からの参加者** **20名**
 - ・ 学部生 12名
 - ・ 教員 4名
 - ・ 大学院生 2名
 - ・ その他 2名

質問	評価	人数
1 本日の講演は満足しましたか	評価1(全くそう思わない)	0
	評価2	0
	評価3	1
	評価4	0
	評価5	0
	評価6	0
	評価7	4
	評価8	13
	評価9	16
	評価10(とてもそう思う)	19
2 本日の講演は参考になりましたか	評価1(全くそう思わない)	0
	評価2	0
	評価3	1
	評価4	0
	評価5	1
	評価6	0
	評価7	4
	評価8	13
	評価9	16
	評価10(とてもそう思う)	18
3 本日の講演は今後のあなたの活動に役立ちますか	評価1(全くそう思わない)	0
	評価2	0
	評価3	1
	評価4	0
	評価5	1
	評価6	0
	評価7	5
	評価8	16
	評価9	10
	評価10(とてもそう思う)	20



4. ご意見、ご感想、その他お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

【ご感想】

- がんになった家族の希望をかなえる事は大切だと思った。
- それぞれの講師の方の伝えたいテーマがはっきりしていて良かった。
- 医療緩和ケアについてわかりやすく説明してもらい参考になった。
- 最期をむかえるにあたって様々な立場から話を聞くことができて有意義な時間だった。
- 自身に、またボランティアでサポートする立場としても参考になった。
- 病院、自宅、施設での看取りを行なってきたが(職業として)色々考えさせられた。
- 現場で患者さんに接している方々の貴重なお話を伺うことができて良かった。
- 講師3人、それぞれポイントが解りやすく参考になった。
- 3人の先生の経験に基づいた貴重な話が聞けて大変勉強になった。
- 医師、看護師、遺族の立場での講演を聞くことができて大変考えさせられた。
- 正に自分がケアプランを作成する上で大変役にたった。
- 全く知識がなかったので大変参考になった。
- 身近なテーマだったので親、自分の老後を含めて参考になった。
- 昨年妻を肺がんで亡くした。今後もお願いしたい。
- 発表者の立場は違っても同じ方向に考えることが大切だと思った。
- 家族だけで考え込まず専門の方々からの助けも受けて最良の方法を選択するのが良いと思った。
- 大岩先生の「求められることにきちんと答えることが大切」という言葉が印象的だった。ナースとして現場に出た時に患者ときちんと信頼関係を築きたい。

【ご要望】

- 時間的に短く、もう少しじっくりお話が聞けるとよかった。
- 大岩先生のお話をもう少し聞いてみたい。
- 家族の希望をかなえるために「お金」「人」など具体的にどうすればよいか聞きたい。
- このような講演会をもっと多くの人に聞いてもらいたい。
死をみんなに考えてもらいたい。
- 時々音が聞こえにくかった。
- 会場が寒かった。

5. 「エンド・オブ・ライフケア看護学」の企画内容や活動への期待、ご要望などお聞かせください。

- 社会、地域でもっと考えていく必要があるので広報活動をお願いしたい。
- 「どう死を迎えたいか」をみんなで考える講座があったらいいと思う。
- がん以外の延命治療(胃瘻、経管栄養など)についても検討したい。
- 死に対しての意識改革が必要だと考えていたのでこのような事をどんどん開催してほしい。
- 今後もこのようなシンポジウムを続けてほしい。
- 新たな分野なのでどんどんPRしてほしい。
- 研修等、多く行なってほしい。
- がん以外の終末期についても扱ってほしい。
- エンド・オブ・ライフケアについての多くの情報や知識を発信してほしい。
- 是非、行政も動かす活動へと発展して行ってほしい。
- 緩和の看護師育成に期待する。
- 今回のように「エンド・オブ・ライフケア」を市民がする機会が増えることを期待する。
- 市民向け公開講座があったらいいと思う。